

## 1年2組 国語科学習指導案

1 単元名 おはなしを たのしもう

2 教材名 「たぬきの 糸車」

3 指導の立場

(1) 教材について

「たぬきの糸車」の学習を通して、つけたい力と指導内容は、以下の通りである。

◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げ、お話を楽しみながら読むことができる。

○語のまとまりや言葉の響きなどについて考えながら音読することができる。

・主語と述語の関係に気をつけて読むことができる。

読むこと (1) ア・ウ 伝国 (1) イ (カ)

本教材は、登場人物の行動描写が中心となった文章であり、人物の行動から場面の様子を捉え、人物の心情を、想像を膨らませて読み味わうのに適した教材といえる。物語の柱となっているものは、「たぬきのいたずら心」、そして「おかみさんとたぬきの心の交流」である。児童には、時にはたぬきになり、時にはおかみさんになりながら作品の世界に浸り、素朴なおかみさんの人柄や、そんなおかみさんとたぬきとの心の通いが、この作品に楽しさとともに温もりを与えていることを感じ取りながら、物語を楽しんでほしい。

この単元では、人物の様子や言動に着目して、糸車に心ひかれて毎晩訪ねてくるたぬきの気持ちや、そんなたぬきにいつの間にか親しみとかわいらしさを感じるようになるおかみさんの気持ちなどを、叙述をもとに想像を広げながら読み取っていく。また、「キーカラカラ」という糸車の回る音をリズムカルに楽しく音読したり、人物の心情を思い浮かべながら音読をしたりして、「新1年生の子達に『たぬきの糸車』を読んで聞かせてあげよう」という、単元の出口の活動へとつなげていく。

(2) 児童の実態

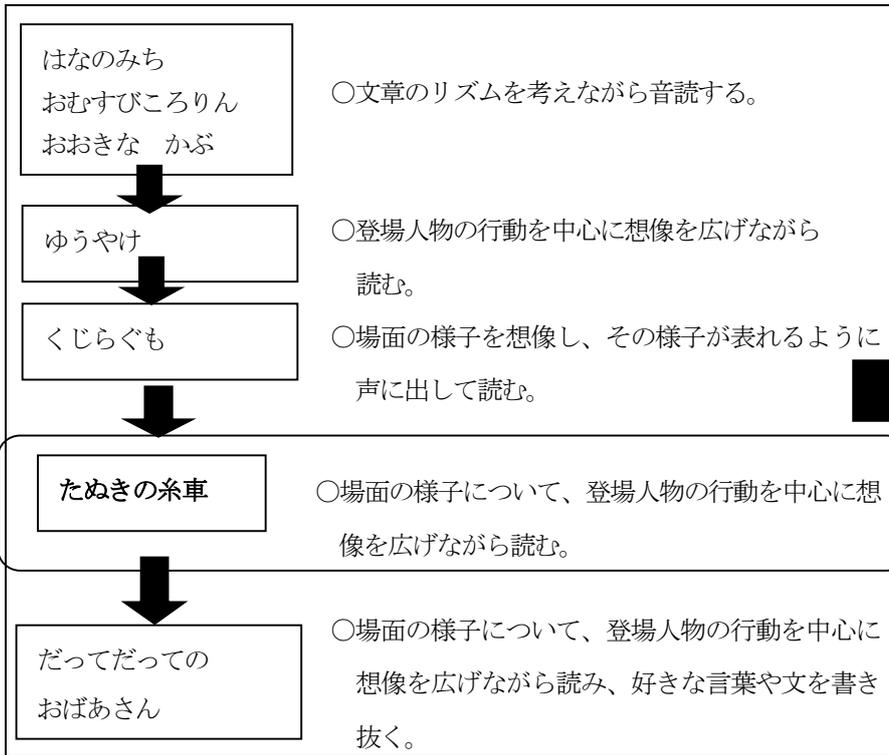
#### 4 研究内容との関わり

##### 【研究内容1 単元指導計画の工夫】

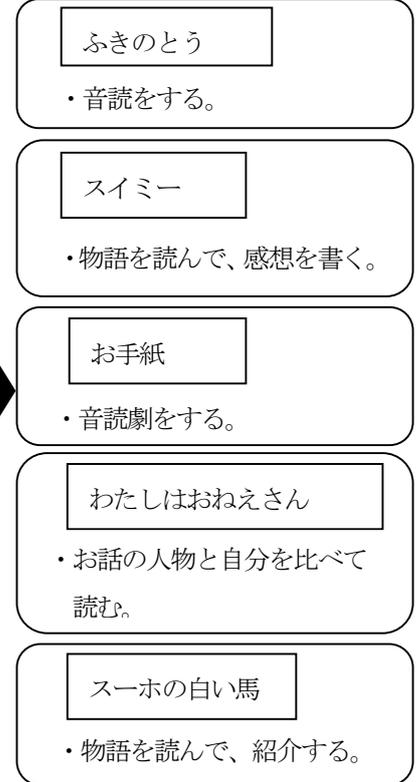
「単元（読むこと領域）における同一指導事項の学年・他学年との関連〈C読むこと ウ〉」

	1年	2年	3年
1	はなのみち おむすびころりん おおきなかぶ	ふきのとう スイミー	きつつきの商売 たのきゅう もうすぐ雨に
2	ゆうやけ くじらぐも	お手紙 わたしはおねえさん	ちいちゃんのかげおくり 三年とうげ
3	たぬきの糸車 だって だつての おばあさん	スーホの白い馬	モチモチの木

##### 1年



##### 2年



##### 【研究内容2 児童が主体的に学ぶ指導過程の工夫】

##### ユニバーサルデザインの3つの視点を明確にした指導過程

焦点化	視覚化	共有化
<p>○おかみさんの気持ちを読み取るためにたぬきの気持ちについても問う。</p> <p>おかみさんのたぬきに対する気持ちを深めるための発問を行い、話合いを焦点化していく。</p>	<p>○実物の糸車を提示し、民話の世界を身近に感じながら、人物の位置関係や様子を把握できるようにする。</p> <p>○動作化によって登場人物の様子や「～につれて」という言葉の意味の理解を深める。</p>	<p>○おかみさんのたぬきに対する親しみの気持ちが増していることを、ペアや全体交流によって深められるようにする。</p>

## 5 単元の日標

◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げ、お話を楽しみながら読むことができる。

○話のまとまりや言葉の響きなどについて考えながら音読することができる。

- ・主語と述語の関係に気をつけて読むことができる。

読 (1) ア・ウ、伝国 (1) イ (カ)

## 6 単元指導計画(全9時間)

### 〈単元を貫く課題〉

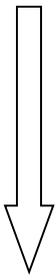
たぬきとおかみさんの、様子やしたこと話したことに気を付けて、気持ちを想像しながら読もう。

### 〈単元を貫く言語活動〉

「たぬきの糸車」の話を新しい1年生に読んで聞かせてあげよう。

時数	ねらい	学習活動	評価規準	
一 次	1 「たぬきの糸車」を楽しんで読み、大体的内容を捉えて、感想をもつことができる。	1 題名や挿絵から、物語の内容を想像する。 2 教師による範読を聞き、あらすじをつかむ。 3 場面の様子や登場人物の行動から想像しながら全文を音読する。 4 感想を交流する。 5 単元を貫く課題や言語活動について知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             たぬきやおかみさんの様子やしたこと話したことに気を付けて、気持ちを想像しながら読もう。           </div> 6 場面分けをし、学習計画を立て、学習の見通しをもつ。 7 新出漢字を確認する。 8 次時への学習の見通しをもつ。	学習の見通しとめあてをもち、大体的内容を捉えて感想をもつとともに、学習の出口を意識して、読み進めようとしている。 <b>【関・意・態】</b>	物語に関心をもち、出口の活動への意欲をもつ。
二 次	2 1場面の場面の様子や、たぬきときこりの夫婦の行動に着目して読むことを通して、相手にしてほしいたぬきの気持ちやきこりの夫婦が困っている気持ちを読み取ることができる。	1 本時の見通しをもつ。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             山奥に住むおかみさんやたぬきの気持ちを考えよう。           </div> 3 1場面を音読する。 4 山奥の様子や、おかみさんの気持ちを読み取る。 5 全体で交流する。 6 たぬきがどんないたづらをなぜしたかを問うことで、寂しい気持ちを読み取る。 7 本時のまとめをする。	場面の様子や、たぬきときこりの夫婦の行動に着目して読むことを通して、相手にしてほしいたぬきの気持ちやきこりの夫婦が困っている気持ちを読み取っている。 <b>【読(1) ウ】</b>	場面の様子や行動から登場人物の気持ちを想像する。

3 本 時	2場面の毎晩毎晩やってくる糸車を回す真似をするためきの様子から、かわいいと思いきしみを感じているおかみさんの気持ちを読み取ることができる。	1 本時の見通しをもつ。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">糸車を回す真似をするためきを見ているおかみさんの気持ちを考えよう。</div> 3 2場面を音読する。 4 行動に着目してためきとおかみさんの気持ちを読み取り、全体で交流する。 5「いたずらもんだが、かわいいな。」と言ったおかみさんの心情を問うことで、ためきに対する親しみの気持ちを読み取る。 6 本時のまとめをする。	毎晩毎晩やってき て糸車を回す真似を するためきの様子か ら、かわいいと思いき しみを感じているお かみさんの気持ちを 読み取っている。 【読(1) ウ】 主語と述語の関係 に気を付けて読んで いる。 【伝国(1)イ(カ)】	↓
4	3場面のわなにつかまったためきの様子から、ためきをかわいそうに思うおかみさんの気持ちを読み取ることができる。	1 本時の見通しをもつ。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">わなにかかったためきを見たおかみさんの気持ちを考えよう。</div> 3 3場面を音読する。 4 言動に着目してためきやおかみさんの気持ちを読み取る。 5 全体で交流する。 6 おかみさんがためきを逃がした理由を問うことで、優しさを読み取る。 7 本時のまとめをする。	わなにつかまった ためきを逃がすこと から、ためきをかわい そうに思うおかみさん の気持ちを読み取っ ている。 【読(1) ウ】 主語と述語の関係 に気を付けて読んで いる。 【伝国(1)イ(カ)】	↓
5	4場面のためきが上手に糸をつむぐ様子から、ためきが冬の間中毎日楽しく糸車を使っていた様子や気持ちを読み取ることができる。	1 本時の見通しをもつ。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">そっとのぞくおかみさんや糸をつむいでいるためきの気持ちを考えよう。</div> 3 4場面を音読する。 4 行動に着目してためきやおかみさんの気持ちを読み取る。 5 全体で交流する。 6 ためきが上手な手つきでつむいだり、おかみさんがしていた通りに積み重ねたりしていた理由を問うことで、冬の間中楽しんでやっていたことを読み取る。	ためきが上手に糸 をつむぐ様子やおか みさんの驚き様子か ら、ためきが冬の間 中毎日楽しく糸車 を使っていた様子や 気持ちを読み取っ ている。 【読(1) ウ】 主語と述語の関係 に気を付けて読んで いる。	↓

			7 本時のまとめをする。	【伝国(1)イ(カ)】	
	6	5場面のたぬきのうれしくてたまらないといった様子から、たぬきの充実した気持ちやおかみさんの優しく見送る気持ちを読み取ることができる。	1 本時の見通しをもつ。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 2px;">帰っていくたぬきや見送るおかみさんの気持ちを考えよう。</div> 3 5場面を音読する。 4 様子や行動に着目してたぬきやおかみさんの気持ちを読み取る。 5 全体で交流する。 6 たぬきがうれしくてたまらないといった様子である理由を問うことで、充実した心情を読み取る。 7 本時のまとめをする。	たぬきのうれしくてたまらないといった様子から、たぬきの充実した気持ちやおかみさんの優しく見送る気持ちを読み取っている。 【読(1)ウ】 主語と述語の関係に気を付けて読んでいる。 【伝国(1)イ(カ)】	
三 次	7 ・ 8	全文を読み返し、場面の様子や登場人物の気持ちを振り返ることを通して、思いが伝わるように読み方を工夫したり音読の練習をしたりすることができる。	1 本時の見通しをもつ。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 2px;">たぬきやおかみさんの気持ちが伝わるように、読み方を工夫しよう。</div> 3 全文を通し音読する。 4 各場面の登場人物の気持ちを振り返り、全体で交流する。 5 場面を選び、グループ分けをする。 6 音読の工夫をし、練習する。 7 音読の工夫の仕方を全体交流する。 8 本時のまとめをする。	場面の様子や登場人物の気持ちを考えながら読むことを通して、思いが伝わるように読み方を工夫して音読することができる。【読(1)ア・ウ】	登場人物の気持ちが表れるように音読を工夫する。
	9	新1年生に対して「たぬきの糸車」の音読を発表する活動を通して、登場人物の気持ちを考えながら音読の仕方を工夫して読むことができる。	1 本時の見通しをもつ。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 2px;">「たぬきの糸車」音読発表会をしよう。</div> 3 音読発表会を行う。 4 感想を交流する。 5 学習のまとめをする。	音読発表会を通して、場面の様子や登場人物の気持ちを考えて音読の仕方を工夫して音読することができる。 【読(1)ア・ウ】 【関・意・態】	音読発表会をする。

## 7 本時のねらい

毎晩毎晩やってきて糸車を回す真似をするたぬきの様子から、かわいいと思いきしみを感じているおかみさんの気持ちを読み取ることができる。

## 8 本時の展開(3/9)

難	学 習 活 動	○指導・援助◆評価規準
つ か む	<p>1 前時を振り返り、本時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山奥の一軒家で寂しいところ。</li> <li>たぬきは寂しくて、いたずらしてしまったんだ。</li> <li>きこりの夫婦はすごく困っていたと思う。</li> </ul>	<p>○前時の学習の足跡を掲示し、本時の学習での考える足場として活用する。 <b>視覚化</b></p>
	<p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>糸車を回す真似をするたぬきを見ている おかみさんの気持ちを考えよう。</p> </div>	<p>○障子や糸車を提示し、場面の状況や登場人物の動作を捉えやすくする。 <b>視覚化</b></p>
考 え る	<p>3 2場面を音読する。</p>	
	<p>4 たぬきの様子やおかみさんの気持ちを読み取り、交流する。</p> <p>○たぬきの行動や様子を、「まわるにつれて」「まいばんまいばん」「糸車をまわすまねをくりかえしました」に着目して確認し、気持ちを想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しいな。おかみさんは何をしているのかな。</li> <li>糸車はおもしろいな。やってみたい。</li> </ul> <p>○おかみさんの行動や様子を、「おもわすふきだしそうに」「だまって」に着目して確認し、気持ちを想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目玉が回っていておもしろいな。笑ってしまうよ。</li> <li>たぬきが真似をするなんてびっくりしたよ。</li> <li>たぬきが逃げってしまうかもしれないから、だまっていよう。</li> </ul>	<p>○たぬきについて、動作化を交えて行動や様子を確かめながら、その心情を読み取れるようにする。叙述をもとに、「まわるにつれて」などの言葉の意味を捉える。</p> <p>○おかみさんの様子や行動が分かる叙述を確認する。その後、たぬきに対する気持ちをワークシートに記入する。</p>
深 め る	<p>5 おかみさんの言葉について考え、交流する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>どんな気持ちで、おかみさんは「いたずらもんだが、かわいいな。」と言ったのだろう。心のことばを話そう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「いたずらもんだが、かわいいな。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>糸車と一緒に目玉をくるりくるりしているから、おもしろくてかわいいよ。</li> <li>毎晩来ていて、ちょっとうれしいよ。また明日も来るかな。</li> <li>私の真似をするなんて、かわいいな。糸車がすごく好きなんだね。</li> <li>いたずらするから嫌だなんて思っていたけど、毎晩来て真似をするなんて、かわいいね。</li> <li>いたずらするから困っていたけど、糸車を見に来たいなら、来てもいいよ。</li> </ul> </div>	<p>○深めの発問により、おかみさんが、たぬきをかわいいと言ったときの内言を考え、話す。 <b>焦点化</b></p> <p>○おかみさんになって、気持ちをペアで交流したり全体で交流したりすることで、おかみさんのたぬきに対する親しみの気持ちが増していることが分かるようにする。 <b>共有化</b></p>
ま と め る	<p>6 本時のまとめをする。</p> <p>人物の心情を思い浮かべながら、2場面の音読をする。</p>	<p>◆評価規準 毎晩毎晩やってきて糸車を回す真似をするたぬきの様子から、かわいいと思いきしみを感じているおかみさんの気持ちを読み取ることができる。 <b>【読(1) ウ】</b></p> <p>○おかみさんの気持ちが表れるように音読しようとする児童を認め紹介して広める。</p>

